

平成 2 5 年度当初予算 施策別取組概要

2 6 1 文化の振興

(主担当部局 : 環境生活部)

26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実
(環境生活部)

26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用
(教育委員会)

平成 27 年度末での到達目標

三重の文化や文化財が効果的に県内外へ情報発信されるとともに、それらを生かした取組が活発になり、県民の皆さんが、主体的に文化活動に参加・参画し、地域の魅力や価値を高めています。

施策の数値目標

県民指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
参加した文化活動に対する満足度	目標値	-	64.0%	65.0%		66.0%
	実績値	63.3%				

各指標の H23 年度数値は現状値

目標項目の説明

三重県文化会館が実施した公演事業および歴史的・文化的資産を生かしたまちづくり事業などにおけるアンケート調査で、公演やイベントの内容について、「とても満足している」と回答した人の割合

活動指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
文化交流ゾーンを構成する施設の利用者数	目標値	-	1,210,000 人	1,230,000 人		1,360,000 人
	実績値	1,190,377 人				
文化芸術情報アクセス件数	目標値	-	70,000 件/月	75,000 件/月		100,000 件/月
	実績値	57,927 件/月				
文化財情報アクセス件数	目標値	-	16,700 件/月	16,800 件/月		17,000 件/月
	実績値	16,623 件/月				

各指標の H23 年度数値は現状値

進捗状況（現状と課題）

- ・ 近年の社会経済情勢の変化や、新県立博物館の整備の進捗など、取り巻く環境の変化をふまえ、幅広い視点から今後の文化行政のあり方を検討する必要があります。
- ・ 三重県総合文化センターは、県民のニーズに応える公演やワンストップサービスの充実などにより、利用率と満足度がともに高く、多くの方々から好評を得ています。今後も引き続き、来館者サービスの向上とリピーターの確保に努める必要があります。
- ・ みえ文化芸術祭は3事業の一体的な開催により、入場者数の増加や来館者の満足度の向上などの効果があり、また、県展移動展は遠隔地域の方にも美術作品に親しんでいただけることから大変好評を得ました。今後もより多くの県民に親しまれる文化芸術の祭典を実施する必要があります。
- ・ 文化交流ゾーンの形成に向け、広場や付替道路等の環境整備や効果的な情報発信等の取組を進めていますが、各施設の連携を一層強化して相乗効果を高め、集積の効果を発揮するためには、文化交流ゾーンを構成する各施設の運営のあり方を検討する必要があります。
- ・ 歴史街道やまちかど博物館は、地域の自主的な活動として定着しつつあり、県の役割として一定の成果を上げることができました。今後は、地域の貴重な歴史的・文化的資産等を掘り起こし、これらの情報を県民の皆さんと共有できる仕組みづくりが必要です。
- ・ 国史跡斎宮跡では、史跡東部整備事業を契機に、「斎宮跡を核としたまちづくり」の取組の機運が高まってきており、今後、観光振興等地域の活性化に資するよう、史跡全体の利活用を進めていく必要があります。
- ・ 県民の皆さんが文化財の保存と活用を通じて地域への愛着や誇りを増し、「人づくり」や「まちづくり」につなげていく取組を実施しています。今後、文化財を活用した取組をさらに充実させていく必要があります。
- ・ 昨年度まで実施した海女習俗基礎調査の結果をもとに、今年度から詳細調査を実施しており、今後、海女文化の文化財としての価値を明らかにしていく必要があります。

平成 25 年度の取組方向

環境生活部

- ・ 県の果たすべき役割や文化交流ゾーンのあり方を明確にしつつ、外部の意見も幅広く取り入れながら、現行の文化振興方針を見直します。
- ・ 三重県総合文化センターについては、施設の適切な維持と有効活用を図るとともに、質の高い文化芸術公演の実施、アウトリーチ活動等による文化・芸術の普及・人材育成などを進めます。
- ・ みえ文化芸術祭は、有識者や関係団体等の意見を聴きながら、より効果的な運営方法を検討し、さらに参加者の増加と満足度の向上を図ります。
- ・ 三重県総合文化センター周辺の各施設が集積による利点を最大限に生かして連携・協働し、集客機能、情報発信機能の強化に努めるとともに、文化交流ゾーンの形成に向け、施設の具体的な運営のあり方について検討します。
- ・ まちかど博物館等の県全域に広がるネットワークを活用できる環境づくりを進めるとともに、県内各地に伝わる伝統行事、古文書、人物などの貴重な歴史的・文化的資産等の情報収集に努めます。また、これらの情報と合わせ各施設などが有する情報を県民の皆さんに発信する「統合型」デジタルアーカイブの構築に取り組みます。
- ・ 国史跡斎宮跡について、史跡の保存と活用のための計画的・継続的な発掘調査を進めるとともに、地域と連携・協働しながら、史跡全体の活発な利活用と情報発信の強化に取り組みます。

教育委員会

- ・ 県民の皆さんが文化財の魅力を知り、地域の誇りとして大切に守り伝えていくため、県内の重要な文化財の調査を行い、国・県の指定等を行ったうえで、適切な保存・継承を図るとともに、学校での郷土教育や地域での文化財を活用した取組を支援します。
- ・ 海女習俗基礎調査の結果をもとに、引き続き、調査の対象を絞ったうえで詳細調査を実施し、海女文化の文化財としての価値を明らかにするとともに、県文化財として指定できるよう取り組んでいきます。

主な事業

環境生活部

文化活動連携事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(24) 38,673千円 (25) 44,738千円

事業概要：県民の文化芸術活動を顕彰する「三重県文化賞」を授与するとともに、県内各地域における文化情報の収集、提供や市町、文化団体等と連携した取組を進めます。また、文化審議会の開催や県民の意識調査などにより、外部の意見も幅広く取り入れながら、新たな文化振興方針を策定します。

文化会館事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(24) 46,172千円 (25) 46,172千円

事業概要：質の高い文化芸術公演の実施やアウトリーチ活動、人材育成に取り組み、県民がさまざまな文化芸術にふれ親しむ機会を提供します。

文化にふれる機会提供事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(24) 10,500千円 (25) 10,500千円

事業概要：県民が文化活動の成果を発表する場として、「県民文化祭」「県展」「音楽コンクール」を県民総ぐるみの文化の祭典「みえ文化芸術祭」として総合的に開催します。

(新)多様な連携による地域文化発信事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(24) - 千円 (25) 21,000千円

事業概要：文化交流ゾーンを構成する施設等が、さまざまな主体と連携・協働し、「伊勢」をテーマとしたシンポジウム、展覧会、講座、演劇などの取組を夏から秋にかけて集中的に実施します。

文化交流機能強化事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(24) 17,962千円 (25) 12,420千円

事業概要：文化交流ゾーンを構成する施設等が所蔵する資料等を県内の各地域で展示するとともに、電子展示システム「大型ディスプレイ電子ミュージアム」をこれらの移動展示等に併せて巡回運用し、文化交流ゾーンの魅力をPRします。

文化交流ゾーン環境整備事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(24) 46,744千円 (25) 225,341千円

事業概要：文化交流ゾーンとして位置づける総合文化センターと新県立博物館との一体的な利用を促進するため、連絡ブリッジ等の環境整備を行います。

地域の文化資産活用促進事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額：(24) 2,286千円 (25) 2,211千円

事業概要：まちかど博物館や歴史街道等の歴史的・文化的資産を活用した地域住民の主体的なまちづくり活動を支援します。

こころのふるさと齋宮づくり事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額：(24) 97,476千円 (25) 318,489千円

事業概要：平安時代の齋宮が体感できるよう、平成26(2014)年度の完成をめざして、東部整備基本計画に基づき、3棟の復元建物の建築工事を行います。

教育委員会

活かそう守ろう“みえ”の文化財事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額：(24) 71,768千円 (25) 122,295千円

事業概要：地域の貴重な文化財について、所有者等が公開等によって文化財の魅力を広く伝え、また後世に守り伝えていこうとする文化財の活用事業と修理等保存事業に対して支援を行います。

新たな地域文化発掘推進事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額：(24) 4,403千円 (25) 3,405千円

事業概要：「鳥羽・志摩地域の海女習俗」の全容を明らかにするために、総合的な調査を実施し、文化財としての価値を明らかにしつつ、調査報告書を刊行し、県の文化財指定等に向けた取組を推進します。